～論文作成の手引き～

懸賞論文に応募する方は以下を参考にしてください。

1.審査項目

No.	審査項目	基準
①	テーマの明確性	・課題認識が明確であるか
②	新規性・独創性	・新たな視点や独創的な視点がみられるか
③	汎用性・波及性	・特殊な事情でなく、他のケースにも影響力を持てるか
④	実務性・有用性	・実際の交通政策・交通計画に活用・応用できる内容であるか
⑤	論理性・信頼性	・論証に矛盾がないか、各種データに信憑性があるか
⑥	学術性・完成度	・学術的視点や社会的説得性の点から評価されるものであるか ・小論文としてのまとまりを含め、論点が整理されているか
⑦	提案・提言力がもたらすインパクト	・提案・提言の内容が審査委員に強い印象を残すもので、かつ、熱意、訴求力があるか

2.構成上の留意点

①序論（はじめに）	序論ではまず、「取り上げるテーマは何か」、「そのテーマを取り上げることの重要性は何か」、「どのような問題意識を持っているのか」を具体的に示す。
②本論	文献調査や実地調査等を通じて収集した事実（調べたこと、データ、結果）を用いて論拠を示し、なぜそのような結論になるのかを論理的に説明する。
③結論（まとめ）	結論では、序論の論文の作成目的と関係付けて結び、結論を分かりやすく述べ、自分の意見を入れるよう留意する。

3.作成上の留意点

・ページ番号を付すこと。
・誤字、脱字がないように気をつける。
・論理的に分かりやすく、読みやすく作成する。
・使用する表記や用語は統一する。
・文体は「である」調で作成する。
・一文は長くならないよう心掛ける。
・説明には図表を有効に活用する。
・図と表ごとに通し番号を付し、図番号とタイトルは図の下、表番号とタイトルは表の上に書く。
・図表が引用されたものである場合、『（出所）観光庁「…統計」』と書く。
・事実（実際に得られている結果など）と意見（事実に基づいた見解や推測など）は区別する。
・先行研究論文を調査のうえ、論文を作成すること。
・当センターホームページに前年度論文審査の「講評」を公開しているので参考とすること。

4.文献等引用上の留意点

(1)本文中における引用した文献情報の書き方

・引用部分の終わりに(　)を挿入する。

・(　)内に、著者の姓、出版年、記載ページのみを記載する。

(2)参考文献リストの書き方

・引用した文献情報は、論文の最後に「参考文献」という形で一括して記載する。

・書籍から引用の場合は、「著者の姓名」「出版された年」「書名」「出版社名」を記載する。

（記載例）

関西太郎（2026）「関西の○○○○」　△△社

・ウェブサイトからの引用の場合は、ページのタイトル、URL、ページ閲覧した日を記載する。

（記載例）

（公財）関西交通経済研究センター「○○○調査報告書」
http://www.kankouken.org/（最終閲覧日 2026/09/30）

(3)生成系 AI の利用に関する留意点

・生成系 AI（ChatGPT 等）の使用の程度や内容によっては、審査の対象から除外することがあります。
なお、生成系 AI を活用して論文を作成するにあたっては、
「大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて」（文部科学省高等教育局、令和5年 7 月 13 日）等を参照ください。

【1.論文の記載方法】

表紙

論文のテーマ→　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（大学名、学部名等は記載しないでください。）
氏名　→　○ ○　 ○ ○
※共同執筆者がいる場合は執筆者全員の
氏名を記載してください。

目　次　→　○○○○○○○
○○○○○○○
○○○○○○○

1 枚目

論文のテーマ→　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（論文の記述）↓
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

※A4（縦、40字×36行）で設定してください。

1

【2.論文要旨の記載方法】

論文のテーマ→ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（要旨）

（大学名、学部名等は記載しないでください。）
氏名 → ○ ○ ○ ○
※共同執筆者がいる場合は執筆者全員の
氏名を記載してください。

（論文要旨の記述）↓
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○••••••••••••••••••••••••
•••••••••••••••••••

～
～

※A4（縦、40字×36行）で設定し、800字程度で記述してください。